

■2017年12月 生活歳時記（気候・消費動向・ストア販売動向）

中国・四国版

週	第1週								第2週								第3週								第4週								第5週	
2017年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
2017年 曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
行事歳時記念日	カレシ田葱の日		みひつみの日					ジュニアシェフの日		アロエヨーグルトの日		明太子の日	ビタミンの日						鱷の日															
	◆忘年会シーズン(～12/24) ◆冬のボーナス								◆大雪(12/7) ◆御事納め(12/8) ◆正月準備								◆正月事始め・煤払い・松迎え(12/13) ◆年賀郵便取扱い開始 ◆年金支給日(12/15)								◆冬至(12/22) ◆天皇誕生日(12/23) ◆クリスマス								◆御用納め(12/28) ◆大晦日(12/31)	
2016年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
2016年 曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
松江	天気	曇一時雨	晴一時曇	晴後曇	曇後雨	晴後曇	曇時々雨	曇一時雨	曇時々晴	曇時々雨	曇時々曇	曇	雨	雨	曇時々晴	雨時々曇	曇一時晴	晴後薄曇	晴後曇	曇時々雨	晴時々曇	曇時々雨	雨時々曇	雨時々曇	晴一時曇	雨時々曇	雨	曇一時曇	雨、曇	曇時々雨	晴一時曇			
	最高気温	14.9	14.7	17.1	15.2	15.5	14.0	11.2	12.5	13.6	10.1	9.0	11.1	11.2	10.9	8.4	6.5	12.1	14.7	14.9	15.6	16.3	22.6	10.8	9.4	11.6	11.4	11.7	7.7	6.3	10.2	11.8		
	最低気温	9.2	6.6	4.5	4.9	7.8	5.4	3.4	5.3	7.4	5.6	3.5	1.1	7.7	3.4	2.6	0.7	0.9	2.9	3.7	8.4	6.7	10.4	5.5	3.8	2.6	5.3	2.8	1.2	0.8	2.5	1.3		
高知	天気	曇時々晴	晴一時曇	晴一時曇	曇後雨	薄曇	晴	快晴	晴後薄曇	晴一時曇	晴	晴	曇一時雨	雨	晴時々曇	晴後曇	晴一時雨	快晴	晴後薄曇	晴	曇時々雨	曇	大雨・曇	晴一時雨	晴後薄曇	晴一時曇	雨	曇後晴	晴	晴時々曇	晴	快晴		
	最高気温	20.3	17.9	18.2	13.2	18.6	15.6	14.8	14.8	18.5	15.7	14.4	14.0	15.8	15.2	13.1	10.0	13.6	14.8	17.4	13.5	19.8	20.9	15.2	12.9	15.7	12.2	16.5	9.3	12.7	12.5	14.5		
	最低気温	10.7	7.0	5.8	9.3	9.2	7.0	3.8	4.7	4.1	4.5	3.6	3.5	10.1	6.7	4.5	2.4	0.3	1.6	2.8	7.9	7.5	13.8	5.9	3.6	4.8	9.9	6.6	3.5	2.2	1.2	1.1		
年間支出順位	内食順位:10位 (平日:9位・休日:28位)		内食順位:7位(平日:6位・休日:7位)								内食順位:8位(平日:11位・休日:6位)								内食順位:3位(平日:3位・休日:3位)								内食順位:1位(平日:1位・休日:1位)							

■2016年12月資料

※総務省 家計調査より

中国	前年12月消費支出金額				前年12月食費支出金額				前年12月光熱費支出金額			
	金額	311,274円	金額	92,239円	金額	19,646円	金額	331,324円	金額	87,737円	金額	20,162円
	前年同月差異	-21,290円	前年同月差異	-9,372円	前年同月差異	-1,544円	前年同月差異	40,071円	前年同月差異	3,281円	前年同月差異	-37円
	前月差異	42,556円	前月差異	20,368円	前月差異	4,094円	前月差異	39,670円	前月差異	19,765円	前月差異	2,021円

SM売上総額前年比(前月) ※日本スーパーマーケット協会マンスリーレポートより	12月の注目アイテム年間順位(16年家計調査データより)					
	注目アイテム	12/9～12/9	12/10～12/16	12/17～12/23	12/24～12/30	12/31～1/8
100.6% (102.2%)	ねぎ	15	9	2	1	23
青果	生しいたげ	8	4	3	1	13
107.9% (113.0%)	みかん	3	4	2	1	8
精肉	牛肉	31	15	5	1	2
100.7% (100.8%)	鶏肉	12	10	2	1	42
鮮魚	まぐろ	27	45	26	1	2
鮮魚	ぶり	8	10	3	1	2
97.2% (97.4%)	かに	6	4	3	1	2
惣菜	かき(貝)	6	3	2	1	17
100.7% (102.4%)	すし(弁当)	43	38	9	4	2
日配加工	天ぷら・フライ	47	44	5	1	2
101.0% (101.8%)	生うどん・そば	9	4	3	1	2
加工食品	ケーキ	7	6	2	1	4
100.5% (100.7%)	つゆ・たれ	3	5	2	1	8
生活関連	ワイン	8	18	1	3	17
97.9% (100.6%)	年間順位	ベスト10以内			注目週	(赤字)

●野菜は前月に引き続き相場高の展開となり、単価上昇の要因となった。
●大根、キャベツ、白菜など大型野菜が好調であったほか、価格が相場に左右されないカット野菜も好調を維持している。
●果物は、みかん、柿が概ね好調であった一方、りんごが不調であった。
また、いちごは価格が高くなりや売り込みづらい環境で、好不調が分かれる結果であった。

●牛肉はステーキや年末のすき焼き用が売上を伸ばし概ね好調であった一方、鶏肉が不調、豚肉は好不調が分かれる結果となった。
●加工肉は前年並みだったものの、WHOの発がんリスクの発表による影響があった数字との比較となり、もの足りない結果となった。

●生食関連では、刺身盛り合わせが好調であった一方、まぐろは好不調が分かれる結果となった。
●不漁の生するめいかや相場高による価格高騰でカニが不調であった。
●一部海域のノロウイルス検出による影響もあり、生カキが不調であった。

●需要期のクリスマスを含めて、チキン関連の商品が好調であった。
●寿司が好調で、要因としてクリスマス、年末のマーケットへの取り組みが成功しているとのコメントが多かった。
●サラダや和惣菜が好調であった。野菜の相場高の影響によるニーズの増加が続いている。

●前月に引き続き、インフルエンザ予防のニーズによりヨーグルトの売上が伸長しているほか、野菜の価格が高いため、漬物・冷凍野菜が好調を維持している。
●加工食品は、米・飲料・鍋つゆが概ね好調であった。酒はチューハイ・ウイスキーが好調だったが、ビール類は売上は伸びなかった。

<クリスマスの状況について>
●パーティーメニューの提案では、寿司・オードブルが好調であったほか、ローストビーフ・ステーキなどの洋食メニューの提案の成功事例が多く見られた。
<年末マーケットの状況について>
●ごちそうメニューは寿司、刺身、牛すきやきが付加価値商品の動向が良く好調であった一方、カニ、えびなどは不調であった。
●酒は日本酒が好調であったほか、ワインの動きも良く、年末・年始に飲むシーンが増えている
<冬ギフト、クリスマスケーキ・おせちなどの予約販売の状況について>
●冬ギフトは地元の名産品やスイーツが好調であったものの、全体としては贈答需要の縮小もあり、売上の減少が見られた。
●クリスマスケーキの予約販売は前年を下回る結果が多かった。人気の商品は、アソート系にシフトしている。おせちの予約販売は概ね好調であった。